



**Cisco Unified IP Phone 7906G/7911G
電話ガイド
for Cisco Unified Communications
Manager 6.0 (SCCP/SIP)**

電話機の一般的なタスク

電話機のオンラインヘルプを表示する	☎ を押し、[ヘルプ]を選択します。
コールを発信する	番号をダイヤルする前または後に、オフフックにします。
番号をリダイヤルする	[リダイヤル]を押します。
ハンドセットを使用して話し、スピーカで聞く	(グループ リッスン モードのみ)[Glisten]を押します。
スピーカで聞くだけ	(モニタ モードのみ)[モニタ]を押します。
履歴を使用する	☎ を押し、[ディレクトリ]>[不在履歴][発信履歴]または[着信履歴]を選択します。番号を選択し、[ダイヤル]を押します。
番号を編集する	[編集]を押してから、<<または>>を押します。
コールを保留にする、または復帰する	保留にするまたは保留から復帰するコールを強調表示して、☎ を押します。
新しい番号へコールを転送する	[転送]を押し、番号を入力してから、再び[転送]を押します。
標準の(アドホック)会議コールを開催する	[次へ]>[会議]を押し、参加者にダイヤルしてから、再び[会議]を押します。



クイック リファレンス



Cisco Unified IP Phone 7906G/7911G 電話ガイド for Cisco Unified Communications Manager 6.0 (SCCP/SIP)

ソフトキーの定義
電話スクリーンのアイコン
ボタン アイコン
短縮ダイヤル
電話機の一般的なタスク

ソフトキーの定義

短縮	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
応答	コールに応答する
割込み	共有回線のコールに自分自身を追加する
折返し	話中または呼出中の内線が対応可能になったときに通知を受信する
キャンセル	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルまたは画面を終了する
C 割込	共有回線のコールに自分自身を追加し、会議を開催する
不在	コール転送を設定またはキャンセルする
クリア	レコードまたは設定を削除する
閉じる	現在のウィンドウを閉じる
参加者	会議の参加者を表示する
会議	会議コールを作成する
削除	[編集]の使用時に、カーソルの右側にある文字を削除する
詳細 (SCCP のみ)	不在履歴ログおよび着信履歴ログ内のマルチパーティ コールに関する詳細コールレコードを開く
ダイヤル	電話番号をダイヤルする
D 転送 (SCCP のみ)	2 つのコールを相互に転送する
サイレント	サイレントをオン/オフにする
編集	履歴の電話番号を編集する
終了	現在のコールを切断する
削除	設定をデフォルトにリセットする
終了	前の画面に戻る
GListen	ハンドセットを使用して話し、スピーカで聞く (グループ リッスン)
GLOff	グループ リッスンを無効にする



Cisco, Cisco Systems, and the Cisco Systems logo are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries. All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0610R)

Copyright © 2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-12474-01-J

G ピック	別のグループで鳴っているコールに 応答する
即転送	ボイス メッセージ システムにコールを 送信またはリダイレクトする
参加 (SCCP のみ)	1 本の回線上の複数のコールを参加させ て、会議を作成する
ミーティング	Meet-Me 会議コールを開催する
モニター	通話をスピーカで聞く
モニターオフ	モニター機能を無効にする
次へ	その他のソフトキーを表示する
メッセージ	ボイスメール システムにアクセスする
発信	新しいコールを発信する
他 Grp	関連付けられたグループで鳴っている コールに応答する
パーク	コール パークを使用してコールを保存 する
ピック	自分のグループでコールに応答する
品質	コールに関する問題をシステム管理者 へ送信する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイ ヤルする
削除	会議の参加者を削除する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者 を削除する
検索	ディレクトリ リストを検索する
転送	コールを転送する
更新	内容を更新する
ビデオ (SCCP のみ)	ビデオ ディスプレイ モードを選択する
<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字の先に移動する

電話スクリーンのアイコン

回線およびコール ステータス

	コール転送が有効
	コールの保留
	接続コール
	オフフック
	オンフック
	着信コール
	共有回線を使用中
	認証されたコール
	暗号化されたコール
	プライオリティ コール
	プライオリティがやや高いコール
	プライオリティが高いコール
	プライオリティが最も高いコール

その他の機能

	短縮ダイヤルが設定済み
	メッセージ受信
	オプションが有効
	機能が有効
	履歴の URL エントリが編集可能 (SIP のみ)

オーディオまたはビデオ モード

	ハンドセットを使用中
	スピーカを使用中 (モニタがオンの状 態)
	ビデオが有効 (Cisco Unified IP Phone 7911G の SCCP のみ)

ボタン アイコン

	音量
	ナビゲーション
	保留
	アプリケーション メニュー

短縮ダイヤル

目的	操作
短縮ダイヤル を使用する	<ul style="list-style-type: none"> を押して、ダイヤルする番 号を選択します。 を押して、[ディレクトリ] >[短縮ダイヤル]を選択します。 ダイヤルする番号を選択しま す。 オンフックの状態では短縮ダイ ヤルの番号を入力して、[短縮] を押します。

Contents

はじめに 1

- このガイドの使用方法 1
- 追加情報の入手 2
- 安全および使用に関する情報 3
- シスコ製品のセキュリティの概要 4
- アクセシビリティ機能 4

電話機の接続 5

電話機の概要 9

- ボタンとハードウェアについて 10
- 回線とコールの違いについて 12
 - 回線およびコールのアイコンについて 12
- アプリケーションメニューへのアクセス 13
- 電話機のヘルプシステムへのアクセス 14
- 機能のアベイラビリティについて 14
- SIP と SCCP の違いについて 14

基本的なコール処理 15

- コールの発信：基本的なオプション 15
- コールの発信：追加のオプション 16
- コールへの応答 18
- コールの終了 19
- コールの保留と復帰 20
- 複数のコールの切り替え 21

進行中のコールを他の電話機に切り替え	21
複数のコールの表示	21
コールの転送	22
ボイス メッセージ システムへのコールの送信	24
別の電話番号へのすべてのコールの転送	25
サイレントの使用方法	26
会議コールの使用方法	27
会議コールのタイプについて	27
標準の会議の開催と参加	28
Meet-Me 会議コールの開催または参加	30
応用的なコール処理	31
短縮ダイヤル	31
自分の電話機でリダイレクトされたコールに応答	33
パークされているコールの保存と取得	34
ハント グループからのログアウト	35
共有回線の使用	36
共有回線について	36
共有回線のコールへの参加	37
他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	38
安全なコールの送受信	39
不審なコールのトレース	40
重要なコールの優先順位付け	40
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	42
1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理	43
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法	45
グループ リッスン機能の使用方法	46
モニタ機能の使用方法	47

ヘッドセットの使用と購入	48
自動応答の使用	49
電話機の設定の変更方法	50
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	50
電話スクリーンのカスタマイズ	52
履歴およびディレクトリの使用方法	53
履歴の使用方法	53
ディレクトリ ダイヤル	56
電話機での社内ディレクトリの使用方法	56
電話機での個人ディレクトリの使用方法	58
ボイス メッセージへのアクセス	61
ユーザ オプション Web ページの使用方法	62
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	62
Web での機能とサービスの設定	64
Web での個人ディレクトリの使用方法	64
Web での個人アドレス帳の使用方法	64
Web でのファースト ダイヤルの設定	65
アドレス帳同期ツールの使用方法	66
Web での短縮ダイヤルの設定	66
Web での電話機サービスの設定	67
Web でのユーザ設定の制御	68
Web での回線設定の制御	69
Cisco WebDialer の使用方法	71
モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定	73

その他の設定オプションについて	76
電話機のトラブルシューティング	78
一般的なトラブルシューティング	78
電話機の管理データの表示	79
Quality Reporting Tool の使用	80
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	81
索引	

はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	操作
電話機について調べる	☎ を押して、[ヘルプ] を選択します。
安全情報を参照する	P.3 の「安全および使用に関する情報」を参照してください。
電話機を接続する	P.5 の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.9 の「電話機の概要」を参照してください。
電話機のボタンについて調べる	P.10 の「ボタンとハードウェアについて」を参照してください。
コールを発信する	P.15 の「コールの発信：基本的なオプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.20 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
コールを転送する	P.22 の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.27 の「会議コールの使用法」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.31 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
電話番号を共有する	P.36 の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機のスピーカを使用する	P.45 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用法」を参照してください。
呼出音の音量またはトーンを変更する	P.50 の「電話機の設定の変更方法」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.53 の「履歴およびディレクトリの使用法」を参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージを聞く	P.61 の「ボイス メッセージへのアクセス」 を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を参照する	このガイドの冒頭にあるクイック リファレンス カードを参照してください。

追加情報の入手

WWW 上の次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

安全および使用に関する情報

停電の影響および Cisco Unified IP Phone のその他のデバイスについては、この項を参照してください。

電源の停止

電話機による緊急サービスへのアクセシビリティは、電話機の電源が投入されているかどうかによって異なります。電源装置が一時的に中断する場合は、電源が元に戻るまでサービスダイヤルおよび緊急コールサービスダイヤルが機能しません。電源の障害または中断が発生したときは、サービスダイヤルまたは緊急コールサービスダイヤルを使用する前に、装置をリセットまたは再設定することが必要な場合があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセット) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠したヘッドセットだけを使用してください。

シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国での法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

シスコの暗号化製品に適用される米国の法律の概要については、次の URL で参照できます。

<http://www.cisco.com/wwl/export/crypto/tool/stqrg.html>

何かご不明な点があれば、export@cisco.com まで電子メールを送信してください。

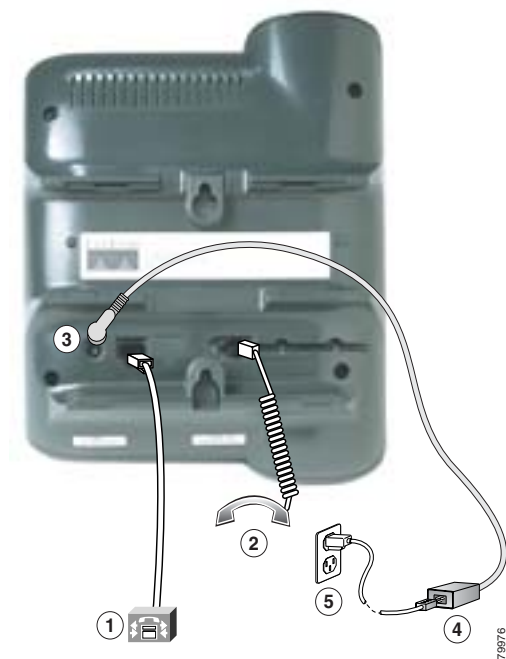
アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストは、申し込みにより入手可能です。

電話機の接続

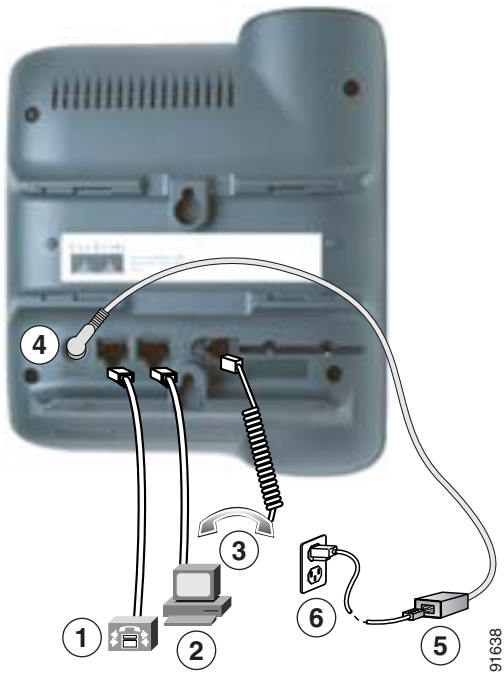
通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図を参照して、電話機を接続してください。

次の図および表は、Cisco Unified IP Phone 7906G の接続方法を示しています。



1	ネットワーク ポート (10/100 SW)	4	AC-DC 電源装置
2	ハンドセット ポート	5	AC 電源コード
3	DC アダプタ ポート (DC48V)		

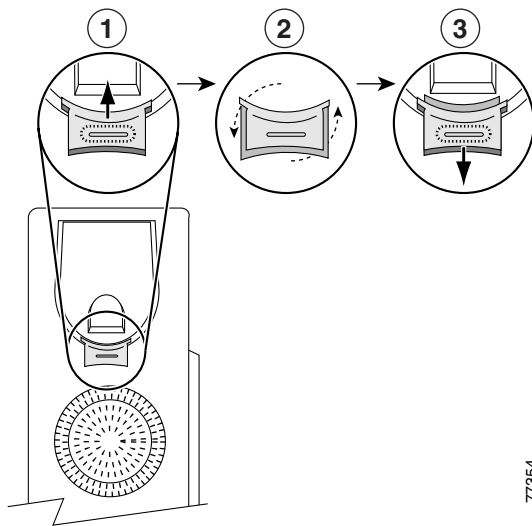
次の図および表は、Cisco Unified IP Phone 7911G の接続方法を示しています。



1	ネットワークポート (10/100 SW)	4	DCアダプタポート (DC48V)
2	アクセスポート (10/100 PC)	5	AC-DC電源装置
3	ハンドセットポート	6	AC電源コード

ハンドセット受け台の調節

電話機を接続する際、ハンドセットが滑り落ちないように、受け台を調整することができます。次の表に手順を示します。



77354

1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

TAPS (内線番号自動登録システム) への登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、ハンドセットが切断されていることを確認してから、ヘッドセットを電話機の背面にあるハンドセットポートに接続します。

ヘッドセット製造業者の推奨事項によって異なりますが、外付け増幅器が必要になる場合があります。詳細については、ヘッドセット製造業者の製品マニュアルを参照してください。

シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に共通して適用できる「最良の」解決策を1つだけ見出すことは不可能です。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco Unified IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質の外部デバイス (ヘッドセット) の使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。

ヘッドセットのサポートが Cisco Unified IP Phone に適用されない主な理由は、ハム雑音が入る可能性です。この雑音は、リモートの通話相手のみ、またはリモートの通話相手と Cisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合があります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。場合によっては、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、ユーザに聞こえる雑音を低減または解消することができます。

音質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音声は主観的なものであるため、シスコはヘッドセットまたはハンドセットの性能を保証できません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットおよびハンドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合の音声が高品質であることが報告されています。

これらを使用する場合でも、実際の環境で装置をテストして、性能が適しているどうかを判断するのは、最終的にお客様の責任となります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.vxicorp.com/cisco>

<http://www.plantronics.com>

<http://www.jabra.com>

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

基本的なコール処理のほかに、Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G では、コール処理機能を拡張する特殊（詳細）なテレフォニー機能をサポートしています。設定に応じて、次の機能をサポートします。

- ネットワーク データ、XML アプリケーション、および Web ベースのサービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページからの電話機の機能およびサービスのオンライン カスタマイズ




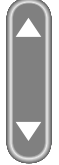
ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを特定するには、次の図を参照してください。



91031

項目	説明	参照先または問い合わせ先
1 電話スクリーン	電話メニューおよびコール アクティビティ (発信者 ID、通話時間、コールの状態など) を表示します。	P.13 の「アプリケーション メニューへのアクセス」 および P.14 の「機能の Availability について」
2 Cisco Unified IP Phone シリーズ	Cisco Unified IP Phone のモデル シリーズを示します。	—
3 ソフトキー ボタン	電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	P.1 の「ソフトキーの定義」

	項目	説明	参照先または問い合わせ先
4	ナビゲーション ボタン 	メニュー項目のスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックの場合、ユーザの短縮ダイヤルを表示します。	P.13 の「アプリケーション メニューへのアクセス」 および P.31 の「短縮ダイヤル」
5	アプリケーション メニュー ボタン 	表示されるアプリケーション メニューにより、ボイス メッセージ システム、履歴とディレクトリ、各種設定、サービス、およびヘルプにアクセスできます。	P.13 の「アプリケーション メニューへのアクセス」
6	保留ボタン 	アクティブ コールの保留、保留したコールの復帰、アクティブ コールと保留したコールの切り替えを行います。	P.20 の「コールの保留と復帰」
7	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	P.15 の「基本的なコール処理」
8	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカ、および呼出音の音量を制御します。	P.45 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法」
9	ライト ストリップ付きのハンドセット	ハンドセットのライト ストリップは、着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	P.61 の「ボイス メッセージへのアクセス」
10	フットスタンド	デスクやテーブルの上で、電話機の角度を使いやすいように調整できます。	—










回線とコールの違いについて

回線とコールを混同しないように、次の説明を参照してください。

- 回線：各回線は、他者が自分へのコールに使用できる電話番号（または内線番号）にそれぞれ対応しています。電話機では、1つの回線をサポートできます。
- コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。電話機はデフォルトで最大 6 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールは自動的に保留状態になります。






回線およびコールのアイコンについて

電話機には、コールおよび回線の状態（オンフック、保留中、呼出中、接続中など）の判断に役立つアイコンが表示されます。

アイコン	コールまたは回線の状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号をダイヤル中、または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼出中のコール	回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	このコールが保留されています。P.20 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	リモートで使用	共有回線の別の電話機に、接続コールがあります。P.36 の「 共有回線について 」を参照してください。
	コールの復帰	保留コールが電話機に復帰しています。P.20 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	認証されたコール	P.39 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.39 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。





アプリケーションメニューへのアクセス

電話機能にアクセスするには、アプリケーションメニューを使用します。


目的	操作
アプリケーションメニューにアクセスする	 を押して、アプリケーションのリスト([メッセージ][ディレクトリ][設定][サービス]および[ヘルプ])を表示します。
リストまたはメニューをスクロールする	 を押します。
メニュー項目を選択する	 を押してメニュー項目を強調表示し、[選択]を選択します。 または、メニュー項目の番号に対応するキーパッドの数字を押すこともできます。
メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了]を押します。このとき、メニューの最上位レベルで [終了] を押すと、メニューが閉じます。
メニューを閉じる(そしてアプリケーションメニューに戻る)	[終了]を1回以上、メニューが閉じるまで押すか、または  を押します。
アプリケーションメニューを終了する	 または [終了] を押します。



(注)

 を押すとLEDは緑色に変わり、アプリケーションメニューを使用している間は点灯しています。 または [終了] を押さずにアプリケーションの操作を終了する場合(たとえば、新しいコールに回答する場合)電話スクリーンが変わる場合がありますが、 ボタンは緑色のままです。もう一度  を押すと、使用していたアプリケーションが中断した時点から再開します。

電話機のヘルプ システムへのアクセス


Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G には、包括的なオンライン ヘルプ システムが用意されています。電話機のヘルプを表示するには、 を押して、[ヘルプ] を選択します。

機能のアベイラビリティについて

電話機システムの設定によっては、この電話ガイドに記載されている機能の一部がお使いの電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

SIP と SCCP の違いについて

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリング プロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

電話機の機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。

基本的なコール処理

各種の機能およびサービスを使用して、基本的なコール処理タスクを実行できます。機能のオペラビリティは異なる場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を一部紹介します。




目的	操作	参照先または問い合わせ先
コールを発信する	ハンドセットを取り上げ、番号をダイヤルします。	P.9 の「電話機の概要」
オンフックでダイヤルする(ダイヤルトーンあり)	[発信] を押して、電話番号をダイヤルします。	—
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押します。	—
別のコールがアクティブなときにコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> ● を押します。 [発信] を押します。 番号を入力します。 	P.20 の「コールの保留と復帰」
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> ⊕ を押して、[ディレクトリ] > [不在履歴] [着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 番号までスクロールし、[ダイヤル] を押します。 	P.53 の「履歴の使用方法」


ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます (プレダイヤル)。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げてオフフックにし、[ダイヤル] を押します。
- プレダイヤルする場合、発信履歴ログ内の一致する番号 (ある場合) が電話機に表示され、ダイヤルする番号が電話機によって予測されます。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号までスクロールし、[ダイヤル] を押してオフフックにします。
- 間違ってダイヤルした場合は、<< を押して番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にピープ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：追加のオプション

コールを発信するための特別な機能とサービスが電話機で使用可能な場合があります。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
短縮ダイヤルを使用する	次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none">  を押して、短縮ダイヤル番号を選択し、[ダイヤル] を押します。  を押して、[ディレクトリ] > [短縮ダイヤル] を選択します。番号を選択し、[ダイヤル] を押します。 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 ファーストダイヤル機能を使用します。 	P.31 の「 短縮ダイヤル 」
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  を押して、[ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。 名前を入力し、[検索] を押します。 リストを強調表示し、オフフックにします。 	P.53 の「 履歴の使用法 」
Cisco WebDialer を使用してパーソナルコンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 ダイヤルする番号をクリックします。 	P.71 の「 Cisco WebDialer の使用法 」
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼出中の内線が対応可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> ビジー音または呼出音が聞こえているときに [折返し] を押します。 切断します。回線が空くと、電話機によって通知されます。 コールをもう一度発信します。 	システム管理者
プライオリティ（Precedence）コールをかける（SCCP 電話機のみ）	Multilevel Precedence and Preemption（MLPP）アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	P.40 の「 重要なコールの優先順位付け 」

目的	操作	参照先または問い合わせ先
Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ]>[パーソナルディレクトリ]を選択し、ログインします。 2. [個人アドレス帳]を選択し、リスト項目を検索します。 	<p>P.62 の「ユーザ オプション Web ページの使用 方法」</p> <p>P.58 の「電話機での個人ディレクトリの使用 方法」</p>
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する (SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 番号をダイヤルします。 2. トーンが鳴ったら、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
Cisco エクステンション モビリティ プロファイル を使用してコールを発信する	電話機の Cisco エクステンション モビリティ サービスにログインします。	P.42 の「Cisco エクステンション モビリティの使用 方法」
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。 3. 会社の IP Phone に発信するために 1 を押します。 4. デスクトップの電話番号にダイヤルします (自分のデスクトップの番号以外)。 	P.43 の「1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」

ヒント

モバイル ボイス アクセスを使用してコールを発信する前に、システム管理者から次の情報を入手してください。

- モバイル ボイス アクセスの番号
- エンド ユーザの PIN

コールへの応答

ハンドセットを取り上げるだけでコールに応答できます。また、電話機で使用可能な場合は、他のオプションを使用することもできます。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押します。	P.20 の「コールの保留と復帰」
コール待機を使用して応答する	[応答] を押します。	P.20 の「コールの保留と復帰」
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。	P.24 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」
着信コールを自動的に接続する	自動応答を使用します。	P.49 の「自動応答の使用」
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークまたはダイレクト コール パークを使用します。	P.34 の「パークされているコールの保存と取得」
自分の電話機を使用して別の電話機で鳴っているコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	P.33 の「自分の電話機でリダイレクトされたコールに応答」
プライオリティ コールに応答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断し、[応答] を押します。	P.40 の「重要なコールの優先順位付け」
携帯電話またはその他のリモート接続先でコールに応答する	モバイル コネクトを設定して電話に応答します。 モバイル コネクトを有効にした場合の動作は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。 デスクトップの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。 1 つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先では呼出音が止まってコールが切断され、不在履歴メッセージが表示されます。 	P.43 の「1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」

ヒント



コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。ここでは、その操作を詳細に説明します。


目的	操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または[終了]を押します。
(スピーカを使用して)コールをモニタしているときに切断する	[終了]を押します。
複数のコールがある場合に1つのコールだけを切断する	[終了]を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。



コールの保留と復帰

コールを保留および復帰することができます。コールを保留にすると、保留アイコン  が発信者 ID の横に表示され、保留ボタン  が赤く点灯します。


電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間経過後に電話機に復帰し、呼出音が鳴ります。これらの「復帰」コールは、保留解除されるまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音（点滅やビープ音など、電話回線の設定によって異なる）を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータス バーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する
- 保留コールの発信者 ID の横に保留復帰アイコン  の動画を表示する

目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。2.  を押します。
コールを保留から復帰する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。2.  を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 保留状態のコールが強調表示されている場合、保留ボタン  が赤く点灯します。保留にしているコールが強調表示されており、回線上に保留状態の別のコールがある場合は、保留ボタンが点滅状態（赤）に変わります。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴りません。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。

複数のコールの切り替え

電話機で複数のコールを切り替えることができます。

目的	操作
接続コールを切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。 ⊙ を押します。アクティブ コールが保留状態になり、選択したコールが復帰します。
接続コールから切り替えて呼出中のコールに応答する	[応答] を押します。アクティブ コールが保留状態になります。

進行中のコールを他の電話機に切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	操作
進行中のコールをデスクトップの電話機から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none"> [モビリティ] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信] を選択します。 進行中のコールに携帯電話で応答します。
進行中のコールを携帯電話からデスクトップの電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。 デスクトップの電話機で 4 秒以内に [復帰] を押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。

複数のコールの表示




電話機で複数のコールが表示されるしくみを理解することは、コールの処理方法を確認するために役立ちます。

電話機では、強調表示されている回線についてコールが次のように表示されます。

- 優先順位が最も高く、通話時間が最も長いコールが、コールのリストの先頭に表示される。
- 同じタイプのコールはまとめて表示される。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、保留中のコールは末尾付近にまとめて表示されます。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブ コールで、[転送] を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブ コールで、[転送] を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する（直接転送、SCCP 電話機のみ）	<ol style="list-style-type: none">1. その回線における任意のコールをスクロールして強調表示します。2. [選択] を押します。3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で[D 転送]を押します（[D 転送]を表示するために[次へ]を押すことが必要な場合があります）。 <p>2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。</p> <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに[参加]を使用します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	[即転送] を押します。詳細については、P.24の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」を参照してください。

ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または[転送]を押してから切断することができます。
- 電話機でオンフック転送が有効でない場合は、[転送]をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
- [転送]を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。● をもう一度押して、転送前にコールの保留を解除してください。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[即転送] を使用して、アクティブ、呼出中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[即転送] を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを転送することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[即転送] でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記で説明したオプションをサポートしていない場合、[即転送] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。


目的	操作
アクティブ、呼出中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	[即転送] を押します。次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none">• コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。• 電話スクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[即転送] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

別の電話番号へのすべてのコールの転送

すべてのコールを転送する機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	操作
回線のコール転送を設定する	[不在] を押して、転送先の電話番号を入力します。
回線のコール転送をキャンセルする	[不在] を押します。
回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 交互に点滅するコール転送のアイコン  が電話番号の横に表示される。 コール転送の転送先番号がステータス行に表示されている。
コール転送をリモートで設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none"> ユーザ オプション Web ページにログインします(P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 コール転送設定にアクセスします(P.69 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。


ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することはできますが、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線に固有の機能です。コール転送が有効でない回線にコールが到達すると、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送の状態を変更できます。

サイレントの使用方法

サイレント機能を使用して、着信コールの呼出音が電話機で鳴らないようにブロックできます。電話機のサイレント機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機で [サイレント] と [不在] の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

目的	操作
サイレントをオンにする	[サイレント] を押します。 ステータス行に「サイレント」と表示され、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[サイレント] ソフトキーを押します。または、次の操作を行います。 1.  > [デバイス設定] > [コールの設定] > [サイレント] を押します。 2. [No] を選択してから、[保存] を押します。
サイレントの設定値をカスタマイズする	1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.62 の「 ユーザオプション Web ページへのアクセス 」を参照してください。 2. ドロップダウン メニューから、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 3. 次のオプションを設定できます。 <ul style="list-style-type: none">- [サイレント]: サイレントを有効または無効にします。- [DND着信呼警告]: アラートをビープ音のみに設定するか、すべての表示および音声によるアラート通知を無効にします。

会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 名以上の人々を参加させて、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の（アドホック）会議と Meet-Me 会議の 2 種類があります。

標準の会議コール

標準の会議を作成する方法は複数あります。作成方法は、ニーズと電話機で使用できるソフトキーによって異なります。

- **[会議]**: このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で使用可能なデフォルトの機能です。
- **[参加]**: このソフトキーは、すでに同じ 1 本の回線で進行中の複数のコールに参加することにより、標準の会議コールを開催するときに使用します（SCCP 電話機のみ）。
- **[C 割込]**: このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加して、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機でのみ使用できます。

手順の詳細については、[P.28 の「標準の会議の開催と参加」](#)を参照してください。


Meet-Me 会議コール





Meet-Me 会議は、指定の時間に Meet-Me 電話番号に発信することによって作成できます。

手順の詳細については、[P.30 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」](#)を参照してください。


標準の会議の開催と参加

標準の（アドホック）会議では、1つのコールで3名以上の参加者が会話できます。

目的	操作
<ul style="list-style-type: none">参加者にコールを発信して会議を作成するすでに開催されている会議に新しい参加者を追加する	<ol style="list-style-type: none">接続コールで、[会議]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[会議]を表示します）。参加者の電話番号を入力します。コールが接続されるまで待ちます。もう一度[会議]を押して、参加者をコールに追加します。この手順を繰り返して、参加者を追加していきます。 <p>会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者に確認してください。</p>
すでに存在する2つ以上のコールに参加させて、会議を作成する（SCCP 電話機のみ）	<ol style="list-style-type: none">1つの回線に2つ以上のコールがあることを確認します。会議に追加するコールを強調表示します。[選択]を押します。 選択したコールで、アイコン <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。追加するすべてのコールについて、それぞれ同じ処理を行います。選択したコールのいずれかで、[参加]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[参加]を表示します）。 <p> (注) アクティブなコールは、自動的に選択されます。</p>
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
共有回線のコールに割り込むことにより、会議を作成する	共有回線でコールを強調表示し、[C 割込]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[C 割込]を表示します）。 P.36の「共有回線の使用」 を参照してください。
会議の参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none">アクティブな会議を強調表示します。[参加者]を押します。 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新]を押します。



目的	操作
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた人物）を検索します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	[ドロップ] を押します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
会議の任意の参加者を削除する	1. 参加者の名前を強調表示します。 2. [削除] を押します。 参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。
会議への参加を終了する	切断するか、または [終了] を押します。
同じ回線上の 2 つの標準会議を結合する	SCCP 電話の場合、[参加] ソフトキーまたは [D 転送] ソフトキーを使用します。 SIP 電話の場合、[会議] ソフトキーまたは [転送] ソフトキーを使用します。 この機能が使用可能かどうか、システム管理者に確認してください。
会議コールのセキュリティを確認する	電話スクリーンで、「会議」の後ろに  アイコンまたは  アイコンがあるかどうかを確認します。
セキュリティ保護されていない参加者を会議から削除する	会議リストを表示している状態で、  アイコンまたは  アイコンがない参加者を特定し、[削除] を押します。 会議の開催者以外が参加者を削除できるかどうかは、システム管理者に確認してください。

ヒント

- 安全な会議を開催するには、セキュリティが設定されている電話機を使用する必要があります。
- セキュリティ保護されていない会議と参加者には、 アイコンが表示されます。
- [**会議**] または [**参加**] を使用してコールを会議に追加するには、コールが同じ回線上にある必要があります（[**参加**] は、SCCP 電話機でのみ使用可能です）。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開始した後で切断すると、その会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議では、会議番号をダイヤルすることで会議を開催したり、会議に参加したりできます。

目的	操作
Meet-Me 会議を開始する	<ol style="list-style-type: none">1. システム管理者に問い合わせ、Meet-Me 電話番号を取得します。2. 番号を参加者に配布します。3. 会議を開始する準備ができたなら、オフフックにしてダイヤルトーンを聞き、[ミートミー]を押します。4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 これで、参加者はダイヤルインすることによって会議に参加できます。 <p> (注) 開催者が会議に参加する前に、参加者が会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合、参加者はもう一度コールする必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>会議の開催者から提供された Meet-Me 会議番号をダイヤルします。</p> <p> (注) 開催者が会議に参加する前に、会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度コールしてください。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議が自動的に終了することはありません。</p>

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機から安全な Meet-Me 会議番号にコールすると、電話機に「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、[P.39 の「安全なコールの送受信」](#)を参照してください。

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。



短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能を使用すると、インデックス番号の入力、または電話スクリーンの項目の選択により、コールを発信できます。設定に応じて、電話機は次のような短縮ダイヤル機能をいくつかサポートします。

- 短縮ダイヤル
- 固定短縮ダイヤル
- ファーストダイヤル



-
- (注)
- 短縮ダイヤル番号と固定短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.62 の「[ユーザ オプション Web ページの使用方法](#)」を参照してください。
 - ファーストダイヤルを設定するには、個人ディレクトリ機能にアクセスする必要があります。P.58 の「[電話機での個人ディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。
 - または、システム管理者がユーザに代わって短縮ダイヤル機能を設定できます。
-

目的	操作
短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="458 207 1217 264">1. 短縮ダイヤル番号を設定します。P.66の「Webでの短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 <li data-bbox="458 280 1217 362">2. コールを発信するには、を押すか、を押して[ディレクトリ]>[短縮ダイヤル]を選択します。
固定短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="458 378 1217 435">1. 固定短縮ダイヤルコードを設定します。P.66の「Webでの短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 <li data-bbox="458 451 1217 508">2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤルコードを入力し、[短縮]を押します。
ファーストダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="458 532 1217 621">1. 個人アドレス帳のエントリを作成し、ファーストダイヤルコードを割り当てます。P.64の「Webでの個人ディレクトリの使用方法」を参照してください。 <li data-bbox="458 638 1217 727">2. コールを発信するには、電話機のファーストダイヤルサービスにアクセスします。P.58の「電話機での個人ディレクトリの使用方法」を参照してください。

自分の電話機でリダイレクトされたコールに応答

コール ピックアップを使用すると、同僚の電話機で呼出中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることで、そのコールに応答できます。同僚とコール処理を分担している場合は、コール ピックアップを使用すると便利です。

目的	操作
自分のコール ピックアップ グループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> [ピック] ソフトキーを使用できる場合は、このキーを押します。 [ピック] ソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして [ピック] を表示してから押します。 <p>電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。</p> コールが鳴った場合は、[応答] を押してコールに接続します。
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> [G ピック] ソフトキーを使用できる場合は、このキーを押します。 [G ピック] ソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして [G ピック] を表示してから押します。 グループ ピックアップ コードを入力します。 <p>電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。</p> コールが鳴った場合は、[応答] を押してコールに接続します。
自分のグループ内または関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> [他 Grp] ソフトキーを使用できる場合は、このキーを押します。 [他 Grp] ソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして [他 Grp] を表示してから押します。 <p>電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。</p> コールが鳴った場合は、[応答] を押してコールに接続します。

ヒント

- ユーザの電話機の設定によっては、ピックアップグループへのコールに関する音声または表示(あるいはその両方)によるアラートを受信する場合があります。

- **[ピック]** および **[Gピック]** を押すと、一番長く鳴り続けているコールに接続されます。
- **[他 Grp]** を押すと、プライオリティが最も高いピックアップグループ内のコールに接続されます。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified Communications Manager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。次の方法を使用してコールをパークできます。

- **コールパーク** : **[パーク]** ソフトキーを使用してコールを保存します。コールが保存されたコールパーク番号が電話機に表示されます。この番号を記録し、コールを取得する場合もこの番号を使用する必要があります。
- **ダイレクトコールパーク** : **[転送]** ソフトキーを使用して、ダイヤルまたは短縮ダイヤルする使用可能なダイレクトコールパーク番号にコールを転送します。ダイレクトコールパーク番号からコールを取得するには、パーク取得プレフィックスをダイヤルしてから、同じダイレクトコールパーク番号にダイヤルまたは短縮ダイヤルする必要があります。

目的	操作
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に、[パーク] を押します（必要に応じて[次へ] ソフトキーを押して、[パーク] を表示します）。 2. 電話スクリーンに表示されたコールのパーク番号を記録します。 3. 切断します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。
アクティブなコールをダイレクトコールパーク番号に転送し、保存する	<ol style="list-style-type: none"> 1. コール中に、[転送] を押します。 2. ダイレクトコールパーク番号に割り当てられた短縮ダイヤル番号を選択するか、番号をダイヤルします。 3. 再び [転送] を押して、番号の保存を終了します。
パークされたコールをダイレクトコールパーク番号から取得する	ネットワーク内の Cisco Unified IP Phone で、パーク取得プレフィックスを入力してダイレクトコールパーク番号をダイヤルするか、パーク取得プレフィックスを入力した後でダイレクトコールパーク番号の短縮ダイヤルを選択してコールに接続します。

ヒント

パークされているコールを取得するまでの時間は制限されていて、その時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。

ハント グループからのログアウト

大量の着信コールを受信する組織に属している場合、ハント グループのメンバーになっている可能性があります。ハント グループには、着信コールの負荷を共有する一連の電話番号が設定されています。ハント グループ内の最初の電話番号が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。

電話機から離れているときは、ハント グループからログアウトすることによって、ハント グループのコールが自分の電話機で鳴らないようにできます。

目的	操作
ハント グループからログアウトして一時的にハント グループのコールをブロックする	[ハント]を押します。電話スクリーンに「ハントグループからログアウト」と表示されます。
ログインしてハント グループのコールを受信する	[ハント]を押します。

ヒント

ハント グループからログアウトしても、ハント グループ以外のコールは引き続き着信します。


共有回線の使用

次のような場合、共有回線を使用するようにシステム管理者から求められる可能性があります。

- 複数の電話機を使用しているが、必要な電話番号は1つである場合
- 同僚とコール処理のタスクを分担する場合
- マネージャに代わってコールを処理する場合

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコン  は、共有回線の別の電話機に接続コールがある場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されていても、通常どおり共有回線でコールを発信および受信できます。

コール情報の共有と割り込み

回線を共有する各電話機には、共有回線で発信および受信されたコールの情報が表示されます。この情報には、発信者 ID および通話時間が含まれます（例外については、[P.36](#) の「[プライバシー](#)」を参照してください）。

コールに関する情報がこのように表示されている場合、回線を共有するユーザおよび同僚は [[割り込み](#)] または [[C 割り込](#)] を使用して、自分自身をコールに追加できます。[P.37](#) の「[共有回線のコールへの参加](#)」を参照してください。

プライバシー


回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、[プライバシー](#) 機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。[P.38](#) の「[他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止](#)」を参照してください。



(注) 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

共有回線のコールへの参加

電話機の設定に応じて、割り込み機能または C 割り込み機能を使用して共有回線のコールに自分自身を追加できます。



目的	操作
共有回線が使用中であるか確認する	リモートで使用中のアイコン  が表示されていることを確認します。
[割り込み] ソフトキーを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none"> リモートで使用中のコールを強調表示します。 [割り込み] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[割り込み] を表示します)。 他の参加者に対して自分の割り込みを知らせるピープ音が鳴ります。
[C 割込] ソフトキーを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none"> リモートで使用中のコールを強調表示します。 [C 割込] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[C 割込] を表示します)。 他の参加者にトーンと短い中断音が聞こえ、電話スクリーン上のコールに関する情報が変更されます。
割り込んだコールに新しい会議の参加者を追加する	<p>[C 割込] が使用可能な場合は、このキーを使用してコールに割り込みます。</p> <p>[割り込み] とは異なり、[C 割込] を使用すると、コールが標準の (アドホック) 会議コールに切り替えられ、新しい参加者を追加できるようになります。P.27 の「会議コールの使用方法」を参照してください。</p>
割り込んだコールを切断する	<p>切断します。</p> <p>[割り込み] を使用した後にコールを切断すると、他の参加者に切断音が聞こえ、元のコールが続行します。</p> <p>[C 割込] を使用した後にコールを切断すると、回線に 3 名以上の参加者が残っている場合に限り、そのコールは会議コールとして続行します。</p>

ヒント

- 共有回線を使用中のある電話機でプライバシー機能を有効にしている場合、その回線を共有している他の電話機には、コール情報と割り込み関連のソフトキーが表示されません。
- [割り込み] を使用して参加していたコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合、そのコールから切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有している場合、プライバシー機能を使用すると、この回線を共有している他者が自分のコールを表示したりコールに割り込んだり（自分自身を追加）しないようにできます。

目的	操作
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりできないようにする	<ol style="list-style-type: none">1. [次へ]>[非通知]を押します。2. プライバシーがオンになっていることを確認するには、電話スクリーンに、プライバシーが有効であることを示すアイコン  が「非通知」の横に表示されていることを確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none">1. [次へ]>[非通知]を押します。2. プライバシーがオフになっていることを確認するには、電話スクリーンに、プライバシーが無効であることを示すアイコン  が「非通知」の横に表示されていることを確認します。

ヒント




自分の回線を共有している電話機がプライバシー機能を有効にしている場合、通常どおり共有回線を使用してコールを発信および受信できます。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機は、次のタイプのコールをサポートできます。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機では、Cisco IP ネットワーク内で暗号化された音声（会話）が送受信されています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- **ノンセキュアコール**：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないが、電話機を検証できません。

目的	操作
コールまたは会議のセキュリティレベルを確認する	<p>コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティアイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none">  認証されたコールまたは会議  暗号化されたコールまたは会議  ノンセキュアなコールまたは会議
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

(SCCP 電話機のみ)

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	操作
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[迷惑呼] を押します。 電話機でトーンが再生され、「迷惑呼が成功しました」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

(SCCP 電話機のみ)

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	操作
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な (通常より速い) 呼出音または特別なコール待機のトーンが聞こえる	プライオリティ (Precedence) コールを受信しています。電話スクリーンの MLPP アイコンが、コールのプライオリティレベルを示します。



目的または状態	操作
コールのプライオリティ レベルを表示する	<p>電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▣ プライオリティ コール ▣▣ プライオリティのやや高い (即時) コール ▣▣▣ プライオリティの高い (フラッシュ) コール ▣▣▣▣ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール <p>より高いプライオリティのコールが、コール リストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティ レベルは通常 (ルーチン) です。</p>
プライオリティのより高いコールを受け入れる	通常どおりコールに応答します。必要に応じて、先にアクティブコールを終了します。
コールを中断する音が連続的に聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断して、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出トーンとコール待機のトーンが鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声通知でエラーを警告されます。
- 次の場合には、MLPP が有効なコールのプライオリティと優先ステータスがそのまま維持されます。
 - コールを保留にする
 - コールを転送する
 - コールを 3 者会議に追加する
 - [ピック] を使用してコールに応答する
- MLPP では、サイレント (DND) 機能は無効になります。

Cisco エクステンション モビリティの使用法

Cisco Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話回線、機能、設定済みのサービス、Web ベースの設定などのユーザ プロファイルが電話機に採用されます。EM は、システム管理者がユーザに対して設定する必要があります。

目的	操作
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、[サービス] > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。2. システム管理者によって提供されたユーザ ID と PIN を入力します。3. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、[サービス] > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ログアウトを求めるプロンプトが表示されたら、[はい] を押します。

ヒント

- 一定期間が過ぎると、ユーザは EM から自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者により設定されます。
- ユーザ オプション Web ページで EM プロファイルを変更した場合、新しい内容は、電話機の EM に次回ログインするときに有効になります。
- 電話機によって制限を受けるローカル設定は、EM プロファイルには保存されません。

1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理

モバイル コネクトとモバイル ボイス アクセスをインストールしておく、デスクトップの電話番号に関連付けられているコールを携帯電話で処理できます。スマートフォンは、Web ブラウジング、電子メール、アドレス帳、カレンダーといったパーソナル コンピュータの機能を備えたモバイル電話機の一つです。

目的	操作
モバイル コネクトを設定する	ユーザ オプション Web ページを使用して、リモート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブロックするためのアクセス リストを作成します。 P.73 の「モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定」 を参照してください。
携帯電話でコールに応答する	P.18 の「コールへの応答」 を参照してください。
進行中のコールをデスクの電話機と携帯電話との間で切り替える	P.21 の「進行中のコールを他の電話機に切り替え」 を参照してください。
スマートフォンで応答したコールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. スマートフォンの [保留] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。 通話相手は保留状態になります。 2. スマートフォンの [復帰] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。 P.21 の「進行中のコールを他の電話機に切り替え」を参照してください。
スマートフォンで応答したコールを別の番号に転送する	<ol style="list-style-type: none"> 1. スマートフォンの [転送] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。 2. コール転送用のエンタープライズ アクセス コードをダイヤルして、新規コールを開始します。通話相手は保留状態になります。 3. [転送] ソフトキーを押してコールの転送を完了します。
スマートフォンで応答したコールで会議コールを開始する	<ol style="list-style-type: none"> 1. スマートフォンの [会議] (名前は異なる場合があります) ソフトキーを押します。 2. 会議用のエンタープライズ アクセス コードをダイヤルして、新規コールを開始します。通話相手は保留状態になります。 3. [会議] ソフトキーを押して会議の設定を完了し、両方の発信者を会議に含めます。

目的	操作
モバイル ボイス アクセスに接続する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 任意の電話機から、割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 2. 発信番号（要求された場合）と PIN を入力します。
携帯電話からモバイル コネクトを有効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 3. 2 を押してモバイル コネクトを有効にします。 4. モバイル コネクト有効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。 <ul style="list-style-type: none"> - すべての電話機の場合：2 を入力します。 - 1 台の電話機の場合：1 を入力します。次にリモート接続先として追加する番号を入力し、続けて # を入力します。
携帯電話からコールを発信する	P.16 の「 コールの発信：追加のオプション 」を参照してください。
携帯電話からモバイル コネクトを無効にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 2. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 3. 3 を押してモバイル コネクトを無効にします。 4. モバイル コネクト無効化の対象を選択します。設定済みの電話機すべて、または 1 台のみです。 <ul style="list-style-type: none"> - すべての電話機の場合：2 を入力します。 - 1 台の電話機の場合：1 を入力します。次にリモート接続先として削除する番号を入力し、続けて # を入力します。

ヒント

- 次の条件が当てはまる場合、モバイル ボイス アクセスにコールするときは PIN に加えて発信番号も入力する必要があります。
 - 発信している番号がリモート接続先の番号でない場合。
 - 通信事業者によって番号がブロックされている（「不明な番号」と表示される）場合。
 - 番号が Cisco Unified Communications Manager のデータベースと完全には一致しない場合。たとえば、ユーザの番号が 510-666-9999 でデータベースに表示されている番号が 666-9999 の場合や、ユーザの番号が 408-999-6666 でデータベースには 1-408-999-6666 と入力されている場合などがこれに当てはまります。
- 要求された情報（携帯電話の番号または PIN）の入力を 3 回連続して誤ると、モバイル ボイス アクセス コールから切断され、一定の時間ロックアウトされます。この場合はシステム管理者に連絡してサポートを受けてください。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用法



Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G では、スピーカを使用してハンズフリーで音声を聞くことができます。スピーカは、通話を聞くためだけに使用できます。通話中に会話するには、ハンドセットを使用します。

次の 2 つの方法のいずれかで、スピーカを使用できます。どちらの方法を使用できるかは、システム管理者が電話機に対してどちらの機能を有効にしているかによって決まります。電話機に対して次のどちらかの機能を有効にできますが、両方を同時に有効にすることはできません。

- グループリッスン
- モニタ（デフォルト）



グループ リッスン機能の使用方法

次の表は、グループ リッスン機能の使用方法を示しています。

目的	操作
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを受け台に戻します。
ハンドセットを使用して話すと同時に、スピーカで聞く(グループ リッスン)	<p>[Glisten] を押します。</p> <p> (注) システム管理者がグループ リッスンを有効にしている場合にだけ、[Glisten] ソフトキーが表示されます。</p>
グループ リッスンをオフにし、ハンドセットを使用する	[GLOff] を押します。
グループ リッスンの使用後に切断する	[終了] を押すか、または切断します。
コールの音量レベルを調節する	<p> (注) グループ リッスンを使用している場合は、音量を調節すると、ハンドセットではなくスピーカの音量だけが変わります。</p> <p>コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに音量の上下ボタンを押します。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。</p>

モニタ機能の使用法

次の表は、モニタ機能の使用法を示しています。


目的	操作
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを受け台に戻します。
通話をスピーカで聞く	<p>[モニタ] を押し、ハンドセットを置きます。通話を聞くことはできますが、話すことはできません。</p> <p> (注) グループリッスンが有効である場合、[モニタ] ソフトキーと [モニタオフ] ソフトキーは使用できません。</p>
スピーカをオフにし、ハンドセットを使用する	<p>ハンドセットを取り上げるか、[モニタオフ] を押します。</p> <p> (注) グループリッスンが有効である場合、[モニタ] ソフトキーと [モニタオフ] ソフトキーは使用できません。</p>
スピーカをオフにし、終了する	[終了] を押します。
コールのスピーカ音量レベルを調節する	<p>コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに音量の上下ボタンを押します。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。</p>

ヒント

- システム管理者によって電話機のスピーカを使用できないように設定されている場合、**[Glisten]**、**[GLOff]**、**[モニタ]** および **[モニタオフ]** の各ソフトキーは使用できません。ハンドセットを取り上げて、コールの発信やモニタを行う必要があります。
- 音量** ボタンを押すと、使用中の装置（ハンドセットまたはスピーカ）の音量が変わります。グループリッスン モードおよびモニタ モードでは、音量調節はスピーカを対象としており、ハンドセットを対象としていません。



(注)

ハンドセットのためのワイドバンド設定を変更する必要がある場合(ハンドセットを変更する場合など)、 を押して、[設定]>[ユーザ設定]>[オーディオ設定]>[ワイドバンドハンドセット]を選択します。ワイドバンドハンドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を制御できません。

システム管理者に、電話機システムがワイドバンドを使用するように設定されているかどうかを確認します。システムがワイドバンド対応に設定されていない場合は、ワイドバンドハンドセットを使用してもオーディオの感度が上がったとは感じられない場合があります。詳細については、ハンドセットのマニュアルを参照するか、システム管理者にお問い合わせください。

ヘッドセットの使用と購入

ヘッドセットを使用するには、ハンドセットを取り外し、ヘッドセットをハンドセットポートに接続します。

ヘッドセットをハンドセットポートに接続する場合は、ワイドバンドハンドセットの設定が無効になっていることを確認してください。[ユーザ設定]>[オーディオ設定]>[ワイドバンドハンドセット]を選択します。



(注)

ワイドバンドハンドセットの設定がグレー表示になっている場合、ユーザはこの設定を制御できません。この設定を変更するには、システム管理者に連絡する必要があります。

ヘッドセットの購入については、[P.7の「ヘッドセットについて」](#)を参照してください。ヘッドセット製造業者の推奨事項によって異なりますが、外付け増幅器が必要になる場合があります。詳細については、ヘッドセット製造業者の製品マニュアルを参照してください。

自動応答の使用

自動応答が有効になっている場合、電話機では呼出音が 2、3 回鳴った後で着信コールが自動的に応答されます。システム管理者は、自動応答においてコールへの応答にスピーカを使用するよう設定できます。ただし、スピーカを使用してユーザが実行できるのは、コールをモニタすることだけです。発信者と通話するには、ハンドセットを取り上げる必要があります。



ヒント



自動応答は、サイレント機能がアクティブの場合は無効になります。


電話機の設定の変更方法

呼出トーン、背景イメージ、およびその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone をカスタマイズできます。

呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ


着信コールおよび新しいボイス メッセージを電話機で示す方法をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量も調整できます。

目的	操作
呼出トーンを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、[設定]>[ユーザ設定]>[呼出音]を選択します。2. 呼出トーンを選択し、[再生]を押してサンプルを聞きます。3. [保存]を押して呼出トーンを設定するか、[キャンセル]を押します。
呼出音のパターン（点滅のみ、一度だけ鳴らす、ピープ音のみなど）を変更する	<p>ユーザ オプション Web ページにログインします（P.62の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください）。</p> <ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします（P.62の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください）。2. 呼出音のパターンの設定にアクセスします（P.69の「Web での回線設定の制御」を参照してください）。 <p> (注) ユーザがこの設定にアクセスするには、事前にシステム管理者がユーザのアクセスを有効にする必要があります。</p>
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	ハンドセットが受け台にある状態で、音量ボタンを押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。


目的	操作
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="508 188 1256 248">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。<li data-bbox="508 261 1256 289">2. [メッセージ受信のランプポリシーを変更] を選択します。<li data-bbox="508 302 1256 362">3. メッセージ インジケータの設定にアクセスします (P.69 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。 <p data-bbox="544 391 1256 516"> (注) 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライト ストリップのランプが点灯して、新しいボイス メッセージがあることが示されます。</p>

電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性を調整できます。






目的	操作
背景イメージを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、[設定]>[ユーザ設定]>[背景イメージ]を選択します。2. 使用可能な画像をスクロールして [選択] を押し、画像を選択します。3. [プレビュー] を押して、背景イメージの大きなビューを表示します。4. [終了] を押して、選択メニューに戻ります。5. [保存] を押して新しい画像を受け入れるか、[キャンセル] を押します。
電話スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. ユーザ設定にアクセスします (P.68 の「Web でのユーザ設定の制御」を参照してください)。
回線テキスト ラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。2. 回線テキスト ラベルの設定にアクセスします (P.69 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。





履歴およびディレクトリの使用方法



この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。両方の機能にアクセスするには、 を押して、[ディレクトリ]を選択します。

履歴の使用方法

電話機には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴が保持されています。

目的	操作
履歴を表示する	 を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。それぞれに最大 100 件までのレコードを保存できます。リストの省略された内容を表示するには、強調表示して、[編集] を押します。
1 つのコール レコードの詳細を表示する	<ol style="list-style-type: none">  を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 コール レコードを強調表示します。 [詳細] を押します。この操作により、着信番号、発呼番号、時刻、通話時間（発信履歴と着信履歴の場合のみ）などの情報が表示されます。
すべての履歴からすべてのコール レコードを削除する	 を押して [ディレクトリ] を選択し、[クリア] を押します。
1 つの履歴からすべてのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none">  を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 コール レコードを強調表示します。 [クリア] を押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[クリア] を表示します）。
1 つのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none">  を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 コール レコードを強調表示します。 [削除] を押します。

目的	操作
履歴からダイヤルする（別のコールに接続されていないとき）	<p>1.  を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴][発信履歴] または [着信履歴] を選択します。</p> <p>2. 履歴にあるコールのレコードを強調表示します。</p> <hr/> <p> (注) [詳細]ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。後述のヒントを参照してください。</p> <hr/> <p>3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集]を押してから、<<または>>を押します。番号を削除するには、[編集]を押してから、[削除]を押します（必要に応じて、[次へ]ソフトキーを押して、[削除]を表示します）。</p> <p>4. コールを発信するには、オフフックにします。</p>
履歴からダイヤルする（別のコールに接続されているとき）	<p>1.  を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴][発信履歴] または [着信履歴] を選択します。</p> <p>2. 履歴にあるコールのレコードを強調表示します。</p> <hr/> <p> (注) [詳細]ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。後述のヒントを参照してください。</p> <hr/> <p>3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集]を押してから、<<または>>を押します。番号を削除するには、[編集]を押してから、[削除]を押します（必要に応じて、[次へ]ソフトキーを押して、[削除]を表示します）。</p> <p>4. [ダイヤル]を押します。</p> <p>5. 次のいずれかを選択して、元のコールを処理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - [保留]: 最初のコールを保留にします。 - [転送]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します）。 - [会議]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します）。 - [終了]: 最初のコールを切断して、2 番目のコールをダイヤルします。

目的	操作
履歴の URL エントリからコールを発信する（SIP 電話機のみ）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ] > [不在履歴] [発信履歴] または [着信履歴] を選択します。 2. ダイヤルする URL エントリを強調表示します。 3. エントリを編集する必要がある場合は、[編集] を押します。  アイコンが表示され、URL エントリの文字の編集を開始できることを示します。 4. [ダイヤル] を押します。

ヒント

（SCCP 電話機のみ）

マルチパーティ コールの完全なコール レコードを表示するには、[**詳細**] を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに 2 つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。

- 最初の履歴エントリは、電話機で受信したマルチパーティ コールのうち、最後に完了したコールの名前と番号です。
- 2 番目の履歴エントリは、電話機で受信したマルチパーティ コールのうち、最初に完了したコールの名前と番号です。


ディレクトリ ダイヤル


設定に応じて、電話機は次のような社内ディレクトリおよび個人ディレクトリの機能を提供します。

- 社内ディレクトリ：ご使用の電話機でアクセスできる社内の連絡先。社内ディレクトリの設定および保守は、システム管理者によって行われます。
- 個人ディレクトリ：(使用可能な場合) 電話機やユーザ オプション Web ページからユーザによる設定とアクセスが可能な、個人の連絡先および関連付けられた短縮ダイヤル コード。個人ディレクトリは、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファースト ダイヤルで構成されています。
 - PAB は、個人の連絡先のディレクトリです。
 - ファースト ダイヤルを使用すると、簡単にダイヤルできる短縮ダイヤル機能用に、コードを PAB エントリに割り当てることができます。
 - 詳細については、P.62 の「[ユーザ オプション Web ページの使用方法](#)」を参照してください。

電話機での社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用すると、同僚へのコールを発信できます。

目的	操作
社内ディレクトリからダイヤルする (別のコールに接続されていないとき)	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、[ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。2. キーパッドを使用して、正式な名前または名前の一部を入力し、[検索] を押します。3. ダイヤルするには、リスト項目を選択し、オフフックにします。


目的	操作
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールに接続されているとき）	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します（正確な名前は異なる場合があります）。 2. キーパッドを使用して、正式な名前または名前の一部を入力し、[検索] を押します。 3. 番号までスクロールし、[ダイヤル] を押します。 4. 次のいずれかを選択して、元のコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none"> - [保留]: 最初のコールを保留にします。 - [転送]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します）。 - [会議]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します（操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します）。 - [終了]: 最初のコールを切断して、2 番目のコールをダイヤルします。



ヒント


電話スクリーンに文字を入力するには、キーパッドの数字を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

電話機での個人ディレクトリの使用方法

個人ディレクトリの機能セットには、個人アドレス帳（PAB）とファーストダイヤルコードが含まれます。この項では、電話機で個人ディレクトリを設定して使用方法について説明します。P.64の「[Webでの個人ディレクトリの使用方法](#)」も参照してください。

目的	操作
個人ディレクトリにアクセスする（PAB およびファーストダイヤルコードの検索のため）	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、[ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] を選択します（正確な名前は異なる場合があります）。2. Cisco Unified Communications Manager のユーザ ID と PIN を入力し、[送信] を押します。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. 個人ディレクトリにアクセスしてから、[個人アドレス帳] を選択します。2. 検索基準を入力し、[送信] を押します。3. [前へ] または [次へ] を選択して、リスト内を移動できます。4. 目的の PAB リスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. 目的のリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。3. [ダイヤル] を押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[ダイヤル] を表示します）。4. 参加者の電話番号を入力します。5. ダイヤルする番号を強調表示し、[OK] を押します。6. 再び [OK] を押して番号をダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. 目的のリスト項目を強調表示し、[削除] を押します。3. [OK] を選択し、削除を確定します。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. 目的のリスト項目を強調表示し、[編集] を押して、名前または電子メールアドレスを変更します。3. 必要に応じて、[電話] を選択し、電話番号を変更します。4. [更新] を押します。

目的	操作
新しい PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人ディレクトリにアクセスしてから、[個人アドレス帳]を選択します。 2. [送信]を選択して[検索]ページにアクセスします(最初に検索情報を入力する必要はありません)。 3. [新規]を押します。 4. 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。 5. [電話]を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード(9や1など)を必ず含めてください。 6. [送信]を選択し、エントリをデータベースに追加します。
PAB エントリにファーストダイヤルコードを割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 目的のリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。 3. [ファーストダイヤル]を押します。 4. ダイヤルする番号を強調表示し、[選択]を押します。 5. その番号に割り当てるファーストダイヤルコードを強調表示し、[選択]を押します。
raw のファーストダイヤルコードを追加する (PAB エントリを使用しない)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ]>[パーソナルディレクトリ]>[個人ファーストダイヤル]を選択します。 2. [ファーストダイヤル]を押します。 3. 割り当てられていないファーストダイヤルコードを強調表示し、[選択]を押します。 4. [割り当て]を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [更新]を押します。
ファーストダイヤルコードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ]>[パーソナルディレクトリ]>[個人ファーストダイヤル]を選択します。 2. [前へ]または[次へ]を選択して、リスト内を移動できます。 3. 目的のリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。
ファーストダイヤルコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルコードを検索します。 2. 目的のリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。 3. [ダイヤル]を押します。 4. [OK]を選択し、操作を完了します。

目的	操作
ファースト ダイアル コードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイアル コードを検索します。 2. 目的のリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [削除] を押します。
個人ディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] を選択します（正確な名前は異なる場合があります）。 2. [ログアウト] を選択します。

ヒント




- 個人ディレクトリへのログインに必要なユーザ ID と PIN は、システム管理者から提供されます。
- 一定期間が過ぎると、ユーザは個人ディレクトリから自動的にログアウトされます。この時間制限はさまざまです。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 電話スクリーンに文字を入力するには、キーパッドの数字を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

ボイス メッセージへのアクセス

ボイス メッセージにアクセスするには、 を押して、[メッセージ] を選択します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されま
す。詳細については、ボイス メッセージ サービスに付属のマニュアルを参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージ サービスの 個人設定を行う	次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • [メッセージ] を押して、音声の指示に従います。 •  を押して、[メッセージ] を選択し、音声の指示に従います。
新しいボイス メッセージの着 信を確認する	次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • ハンドセットの赤いランプの点灯（このインジケータは異なる場合があります。P.50の「呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ」を参照してください）。 • 電話スクリーン上のメッセージ受信アイコン  の点滅。 <p>次の音を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールを発信したときにハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカフォンから聞こえるスタッタ音。
ボイス メッセージを聞く、また はボイス メッセージ メニュー にアクセスする	次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • [メッセージ] を押して、音声の指示に従います。 •  を押して、[メッセージ] を選択し、音声の指示に従います。
ボイス メッセージ システムに コールを送信する	[転送] を押します。詳細については、P.24の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」を参照してください。


ユーザ オプション Web ページの使用方 法

Cisco Unified IP Phone は、社内の他のネットワーク デバイス（パーソナル コンピュータを含む）と情報を共有できるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して、Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページにログインし、ここで Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル番号を設定できます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、ログインして電話デバイスを選択する方法について説明します。

目的	操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="458 816 1217 873">1. ユーザ オプション Web ページの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。<li data-bbox="458 889 1217 946">2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。<li data-bbox="458 963 1217 1237">3. セキュリティ設定の受け入れを求めるプロンプトが表示されたら、[はい]または[証明書のインストール]をクリックします。 メインの Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページが表示されます。このページから、[ユーザオプション]を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファーストダイヤルにアクセスできます。 また、電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します（次を参照してください）。

目的	操作
<p>ログイン後にデバイスを選択する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション ページにログインした後、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 [デバイス設定] ページが表示されます。 2. 複数のデバイスを割り当てられている場合は、適切なデバイス（電話機のモデル、エクステンション モビリティ プロファイル、またはリモート接続先プロファイル）を [名前] ドロップダウンメニューから選択します。 <p> (注) [デバイス設定] ページの最上部に表示されるツールバー ボタンは、選択したデバイスの種類によって異なります。</p>
<p>ログイン後に設定オプションを選択する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインした後、[ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、ファーストダイヤル、およびモビリティ設定にアクセスします。 2. 別のページから [デバイス設定] ページに戻るには、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。

Web での機能とサービスの設定

この項の各トピックでは、ログイン後にユーザ オプション Web ページから機能とサービスを設定する方法について説明します。P.62 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

Web での個人ディレクトリの使用方法

コンピュータでアクセスできる個人ディレクトリ機能セットは、次のもので構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファースト ダイヤル
- Cisco Unified Communications Manager Address Book Synchronizer



(注) 電話機から PAB およびファースト ダイヤルにアクセスすることもできます。P.58 の「[電話機での個人ディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用方法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

目的	ログインした後の操作
新しい PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. [新規追加] を選択します。3. エントリの情報を入力します。4. [保存] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. 検索情報を指定して、[検索] をクリックします。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを検索します。2. 名前またはニックネームをクリックします。3. 必要に応じてエントリを編集し、[保存] をクリックします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを検索します。2. 1 つ以上のエントリを選択します。3. [選択項目の削除] をクリックします。

Web でのファースト ダイヤルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファースト ダイヤルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログインした後の操作
PAB エントリにファースト ダイヤル コードを割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを作成します。P.64 の「Web での個人アドレス帳の使用法」を参照してください。 2. [ユーザオプション] > [ファーストダイヤル] を選択します。 3. [新規追加] をクリックします。 4. [検索オプション] 領域を使用して、適切な PAB エントリを見つけます。 5. [検索結果] 領域で、電話番号をクリックします。 6. 必要に応じて、ファースト ダイヤル コードを変更します。 7. [保存] をクリックします。
電話番号にファースト ダイヤル コードを割り当てる (PAB エントリを使用しない)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイヤル] を選択します。 2. [新規追加] をクリックします。 3. 必要に応じて、ファースト ダイヤル コードを変更します。 4. 電話番号を入力します。 5. [保存] をクリックします。
ファースト ダイヤル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイヤル] を選択します。 2. 検索情報を指定して、[検索] をクリックします。
ファースト ダイヤルの電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ファーストダイヤル] を選択します。 2. 編集するファースト ダイヤル エントリを検索します。 3. エントリのコンポーネントをクリックします。 4. 電話番号を変更します。 5. [保存] をクリックします。
ファースト ダイヤル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファースト ダイヤルを検索します。 2. 1 つ以上のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。

ヒント

- 最大 500 個のファースト ダイヤル エントリおよび PAB エントリを作成できます。
- PAB エントリを使用せずに新しいファースト ダイヤル エントリを作成できます。そのようなファースト ダイヤル エントリにはユーザ オプション ページで「raw」というラベルが付いており、設定可能なテキスト ラベルが表示されません。

アドレス帳同期ツールの使用方法

アドレス帳同期ツール (TABSynch) を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳 (存在する場合) を PAB と同期させることができます。同期させると、Cisco Unified IP Phone およびユーザ オプション Web ページから Microsoft Windows アドレス帳のエントリにアクセスできるようになります。システム管理者は、TABSynch へのアクセスおよび使用方法の詳しい説明を提供できます。


Web での短縮ダイヤルの設定

設定に応じて、電話機は次のような短縮ダイヤル機能をいくつかサポートします。

- 短縮ダイヤル番号
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイヤル



(注) 短縮ダイヤル機能の使用方法については、P.31 の「短縮ダイヤル」を参照してください。


目的	ログインした後の操作
短縮ダイヤル番号を設定する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。3. [短縮ダイヤル] をクリックします。4. 電話機の短縮ダイヤル番号の番号とラベルを入力します。5. [保存] をクリックします。 <p> (注) 電話機では ASCII ラベル フィールドが使用されます。</p>

目的	ログインした後の操作
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [短縮ダイヤル] をクリックします。 4. 固定短縮ダイヤル コードの番号とラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。
ファースト ダイヤルを設定する	<p>P.65 の「Web でのファーストダイヤルの設定」を参照してください。</p> <p>電話機でファースト ダイヤルを設定することもできます。P.58 の「電話機での個人ディレクトリの使用方法」を参照してください。</p>

Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特別な電話機機能、ネットワーク データ、および Web ベースの情報 (株式相場、映画情報など) が含まれます。電話機で電話機サービスにアクセスするには、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログインしてデバイスを選択した後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [電話サービス] をクリックします。 4. [新規追加] をクリックします。 5. ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。 6. (省略可能) 可能な場合は、サービス ラベルを変更したり、追加のサービス情報を入力したりします。 7. [保存] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [検索] をクリックします。
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. 1 つ以上のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。

目的	ログインしてデバイスを選択した後の操作
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. サービス名をクリックします。 3. 情報を変更して、[保存]をクリックします。
電話機からサービスにアクセスする	 > [サービス] を選択します。

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

目的	ログインした後の操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ブラウザのパスワード] 領域で、情報を入力します。 3. [保存] をクリックします。
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [電話の PIN] 領域で、情報を入力します。 3. [保存] をクリックします。
ユーザ オプション ページの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ユーザロケール] 領域で、[ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存] をクリックします。
電話スクリーンの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。 2. [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。 3. [保存] をクリックします。

ヒント


PIN とパスワードでは、アクセスできる機能およびサービスが異なります。たとえば、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたは個人ディレクトリにログインするには、PIN を使用します。パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするには、パスワードを使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



Web での回線設定の制御

回線設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線設定には、コール転送、ボイスメッセージ インジケータ、呼出音のパターン、および回線ラベルが含まれます。

電話機で、その他の回線設定を直接設定できます。次の設定が可能です。

- プライマリ電話回線のコール転送を設定する：P.25 の「別の電話番号へのすべてのコールの転送」を参照してください。
- 呼出音、表示、および他の電話機モデルに固有の設定を変更する：P.50 の「電話機の設定の変更方法」を参照してください。


目的	ログインした後の操作
回線ごとにコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. [着信コールの転送] 領域で、さまざまな条件のコール転送設定を選択します。 5. [保存] をクリックします。
回線ごとにボイス メッセージのインジケータの設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <p data-bbox="548 1015 608 1079"> (注)</p> <p data-bbox="649 1052 1264 1177">通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機のハンドセットにあるライト ストリップの赤いランプが点灯して、新しいボイス メッセージがあることが示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存] をクリックします。

目的	ログインした後の操作
<p>回線ごとにオーディオ ボイス メッセージ インジケータの設 定を変更する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. [オーディオメッセージ受信インジケータ] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <p> (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機のハンドセットにあるライト ストリップの赤いランプが点灯して、新しいボイス メッセージがあることが示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. [保存] をクリックします。
<p>電話スクリーンに表示される回 線テキスト ラベルを変更また は作成する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン メニューから電話機を選択します。 3. [回線の設定] をクリックします。 4. [回線のテキストラベル] 領域で、テキスト ラベルを入力します。 5. [保存] をクリックします。 <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は ASCII ラベル フィールドを使用します。</p>

Cisco WebDialer の使用方法

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることにより、Cisco Unified IP Phone でディレクトリ内の連絡先にコールを発信できます。この機能は、システム管理者がユーザに対して設定する必要があります。

目的	操作
ユーザ オプション ディレクトリで WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.62 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 2. [ユーザオプション] > [ディレクトリ] を選択し、同僚を検索します。 3. ダイアルする番号をクリックします。 4. 初めて WebDialer を使用する場合は、プリファレンスを設定し、[送信] をクリックします (詳細については、この表の最後の段を参照してください)。 5. コールの開始ページが表示されたら、[ダイアル] をクリックします (今後このページを表示したくない場合、その方法の詳細については、この表の最後の段を参照してください)。 これで、電話機でコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話機で切断します。
別のオンライン社内ディレクトリ (ユーザ オプション ディレクトリではない) で WebDialer を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。 2. ダイアルする番号をクリックします。 3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。 4. 初めて WebDialer を使用する場合は、プリファレンスを設定し、[送信] をクリックします (詳細については、この表の最後の段を参照してください)。 5. コールの開始ページが表示されたら、[ダイアル] をクリックします (今後このページを表示したくない場合、その方法の詳細については、この表の最後の段を参照してください)。 これで、電話機でコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了] をクリックするか、電話機で切断します。

目的	操作
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページまたはコールの終了ページで、ログアウトのアイコンをクリックします。
WebDialer のプリファレンスを設定、表示、または変更する	<p>[初期設定] ページにアクセスします。</p> <p>WebDialer を初めて使用する場合は (ダイヤルする番号をクリックした後に) [初期設定] ページが表示されます。</p> <p>今後 [初期設定] に戻るには、コールの開始ページまたはコールの終了ページからプリファレンスのアイコンをクリックします。</p> <p>[初期設定] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [優先する言語]: WebDialer の設定およびプロンプトに使用する言語を指定します。 • [常設の電話を使う]: WebDialer コールの発信に使用する Cisco Unified IP Phone および電話番号 (回線) を指定します。1 本の回線を持つ 1 つの電話機がある場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機および回線 (またはそのいずれか) を選択します。電話機は、ホスト名によって指定されます (電話機でホスト名を表示するには、 を押して、[設定] > [ネットワークの設定] > [ホスト名] を選択します)。 • [エクステンションモビリティを使用する]: オンの場合、WebDialer が、エクステンション モビリティ プロファイルに関連付けられている Cisco Unified IP Phone を使用するように要求されず (使用可能な場合)。 • [コールの確認ダイアログを表示しない]: オンの場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリで電話番号をクリックした後に、デフォルトで表示されます。

モバイル コネクト用の電話機とアクセス リストの設定

Cisco Mobile Connect を使用する場合、デスクの電話機と同じ電話番号を使用してコールの発信や受信ができるように、携帯電話や他の電話機を追加する必要があります。これらの電話機は、リモート接続先と呼ばれます。また、アクセス リストを定義して、特定の番号からのコールが携帯電話に送信されるのを制限または許可することもできます。

目的	ログインした後の操作
アクセス リストを作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [モビリティの設定] > [アクセスリスト] を選択します。 2. [新規追加] をクリックします。 3. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - [名前]: アクセス リストを識別します。 - [説明]: アクセス リストの説明です。 4. 次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> - [拒否アクセスリスト]: ブロックする番号のリストを作成します。 - [許可アクセスリスト]: 許可する番号のリストを作成します。 5. [保存] をクリックします。

目的	ログインした後の操作
アクセス リストにメンバを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクセス リストを作成します。 2. [メンバの追加] をクリックして、電話番号またはフィルタをリストに追加します。 3. [フィルタマスク] ドロップダウン リスト ボックスからオプションを選択します。電話番号、制限付きの発信者 ID (使用不可) が表示されたコール、または匿名の発信者 ID (非通知) が表示されたコールをフィルタリングできます。 4. [フィルタマスク] ドロップダウン リスト ボックスから電話番号を選択する場合、[DN マスク] フィールドに電話番号またはフィルタを入力します。フィルタの定義には、次のワイルドカードを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> - X (大文字または小文字): 数字 1 字に一致します。たとえば、408555123X は 4085551230 から 4085551239 までのすべての番号に一致します。 - !: 任意の桁の数字に一致します。たとえば、408! は 408 で始まるすべての番号に一致します。 - #: 完全一致する数字 1 字として使用します。 5. このメンバをアクセス リストに追加するには、[保存] をクリックします。 6. アクセス リストを保存するには、[保存] をクリックします。

目的	ログインした後の操作
新しいリモート接続先を追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション] > [モビリティの設定] > [リモート接続先] を選択します。 2. [名前] ドロップダウン リスト ボックスからデバイスを選択します。 3. [リモート接続先] をクリックします。 4. [新規追加] をクリックします。 5. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - [名前]: 携帯電話(または他の電話機)の名前を入力します。 - [着信先番号]: 携帯電話の番号を入力します。 - [最短応答タイマー]: リモート接続先でコールに応答できるまでの時間を入力します(ミリ秒)。 - [最長応答タイマー]: それ以上経過するとリモート接続先でコールに応答できなくなる時間を入力します(ミリ秒)。 - [呼び出し前の遅延タイマー]: リモート接続先でコールの呼出音が鳴るまでの時間を入力します(ミリ秒)。 - [リモート接続先プロファイル]: リモート接続先のプロファイルを選択します。このプロファイルには、すべてのリモート接続先に適用される設定値が含まれます。 - [許可アクセスリスト]: デスクトップの電話機にコールが着信したときに携帯電話で呼出音が鳴るようにする電話番号またはルールを選択します。許可アクセス リストと拒否アクセス リストは、いずれか一方を選択します。両方は選択できません。 - [拒否アクセスリスト]: デスクトップの電話機にコールが着信したときに携帯電話で呼出音が鳴らないようにする電話番号またはルールを選択します。許可アクセス リストと拒否アクセス リストは、いずれか一方を選択します。両方は選択できません。 - [携帯電話]: デスクトップの電話機から発信されたコールを携帯電話で受信する場合に選択します。 - [モバイルコネクットの有効化]: デスクトップの電話機と同時に携帯電話の呼出音を鳴らす場合に選択します。 - [スマートクライアントインストール済み]: 設定しているリモート接続先がスマートフォンの場合に選択します。 6. [保存] をクリックします。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されている電話ガイドやその他のマニュアルには、http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html からアクセスできます。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
自分の電話回線で処理できるコールを増やす	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である	共有回線を使用することを検討します。	P.36の「共有回線の使用」を参照してください。
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用することができます。	P.36の「共有回線の使用」を参照してください。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：共有の Cisco Unified IP Phone に自分の電話番号およびユーザ プロファイルを適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理 (P.31) • 共有回線の使用 (P.36) • Cisco エクステンション モビリティの使用方法 (P.42)
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	P.42 の「 Cisco エクステンション モビリティの使用 方法」を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、Cisco Unified IP Phone のトラブルシューティング情報を提供します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、電話機の一般的な問題をトラブルシューティングするために役立つ情報を提供します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤル トーンが聞こえない、またはコールを完了できない	次の状況の 1 つ以上に該当している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">• エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。• 電話番号をダイヤルした後で、Client Matter Code (CMC; クライアント マター コード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力する必要がある (SCCP 電話機のみ)。• 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できない。
使用するソフトキーが表示されない	次の状況の 1 つ以上に該当している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">• [次へ] を押して、さらにソフトキーを表示させる必要がある。• 回線の状態を変更する必要がある (たとえば、オフフックにするか、接続コール中にします)。• 当該ソフトキーに関連付けられた機能をサポートするように電話機が設定されていない。
[参加] が失敗する (SCCP 電話機のみ)	[参加] を使用するには、複数のコールを選択する必要があります。自動的に選択されるアクティブ コール以外に、少なくとも 1 つのコールを選択してください。
[割り込み] が失敗し、速いビジー音が聞こえる	使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。

症状	説明
[割込み] を使用して参加したコールから切断された	[割込み] を使用して参加していたコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合、そのコールから切断されます。
[折返し] が失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

電話機の管理データの表示

トラブルシューティングの一環として、電話機の管理データにアクセスするようにシステム管理者から求められる場合があります。

目的	操作
ネットワーク設定データにアクセスする	Ⓧ を押して、[設定] > [ネットワークの設定] を選択し、表示するネットワーク設定項目を選択します。
ステータス データにアクセスする	Ⓧ を押して、[設定] > [ステータス] を選択し、表示するステータス項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	Ⓧ を押して、[設定] > [モデル情報] を選択します。
電話機のコールおよび音声品質情報にアクセスする	Ⓧ を押して、[設定] > [ステータス] > [コールの統計] を選択します。

Quality Reporting Tool の使用

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするため、システム管理者によって一時的に電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定される場合があります。[品質] を押すと、システム管理者に情報を送信できます。QRT は、設定に応じて次のように使用できます。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐに報告する
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択して、原因コードを選択する

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com で入手できます。次の手順を実行して、Cisco.com から *Cisco Information Packet* と保証およびライセンス契約書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpk/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03A0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。
- d. Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。
- e. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注)

PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。

- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	

Index

A

ASCII ラベル フィールドのサポート 66

C

C 割込

使用 37

「割り込み」も参照

CallBack 16

Cisco Unified IP Phone

SCCP 14

SIP 14

図 10

接続 5

登録 7

トラブルシューティング 78

~の Web ベースのサービス 67

~の機能設定 14

~のマニュアル 2

ハンドセット受け台の固定 7

プロトコル 14

Cisco WebDialer 71

Cisco エクステンション モビリティ機能、使用
17

CMC 78

F

FAC 78

Forced Authorization Code

「FAC」を参照

M

Malicious Call Identification

「MCID」を参照

MCID 40

Meet-Me 会議 27, 30

MLPP、使用 40

P

PAB

Web ページからの使用 64

~からのダイヤル 17

電話機での使用 58

PIN、変更 68

Q

Quality Reporting Tool 80

S

SCCP (Skinny Call Control Protocol) 14

SIP (Session Initiation Protocol) 14

T

TABSynch 66

TAPS 7

Tool for Auto-Registered Phones Support 7

W

Web ベースのサービス

設定 64

「ユーザ オプション Web ページ」も参照

WebDialer 71

あ

アイコン、コール状態の 12

アドレス帳同期ツール 66

アプリケーション メニュー、使用方法 13

アプリケーション メニュー ボタン 11

暗号化されたコール 39

安全上の警告 3

安全な会議

開催 29

確認 29

安全なコール 39

え

エクステンション モビリティ

EM 42

お

オフフック ダイヤル 15

音質 8

オンフック ダイヤル 15

音量

電話機の呼出音の 50

ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカ
の 46, 47

音量ボタンの図 11

か

会議

安全な 29, 39

参加 29

セキュリティのレベル 39

会議コール

Meet-Me 27, 30

標準 27, 28

回線

共有 36

コールとの比較 12

説明 12

~でサポートされているコールの数 12, 76

~の説明 12

外部デバイス、使用方法 3

- き
 - キーパッドの説明 11
 - 機能、～のアベイラビリティ 14
 - 共有回線
 - およびリモートで使用中のアイコン 36
 - ～の説明 36
 - プライバシーの使用 38
 - 割り込みの使用 37

- く
 - クライアント マター コード
 - 「CMC」を参照
 - グループ リッスン 46
 - グループのコール ピックアップ 33

- け
 - 警告、安全上の 3
 - 言語（ロケール）の設定 68

- こ
 - コール
 - 安全な 39
 - 応答 18
 - 回線ごとの最大数 12
 - 回線との比較 12
 - 終了 19
 - ～での参加の使用 28
 - 転送 22, 25
 - ～に関する問題の報告 80
 - ～のアイコン 12
 - ～の会議機能 27
 - ～の複数の参加者 27
 - ～の割り込みの防止 38
 - パーク 34
 - 発信 15, 16
 - 表示 10, 21
 - 複数、～の切り替え 21
 - 複数の処理 18
 - 保存と取得 34
 - 保留と復帰 20
 - モニタリング 45
 - 優先順位付け 40
 - 呼出中のリダイレクト 18, 33
 - コール パーク 18, 34
 - コール ピックアップ 18, 33
 - コール処理
 - 応用的な 31
 - 基本的な 15
 - コール待機 18
 - コール転送 25
 - 電話機での設定 25
 - コールの切り替え 21
 - コールの終了、～のオプション 19
 - コールの発信、～のオプション 15, 16
 - コールの復帰 20
 - コールへの応答 18
 - 個人アドレス帳
 - 「PAB」を参照
 - 個人ディレクトリ
 - Web ページからの使用 64
 - 電話機での使用 58
 - 固定短縮ダイヤル 16, 31

さ

- サービス、～への登録 67
- サイレント 26
- 参加、使用 27

し

- シグナリング プロトコル 14
- 自動応答 18
- 自動ダイヤル 15
- 社内ディレクトリ
 - Web ページからのダイヤル 16
 - ～からのダイヤル 16
 - 電話機での使用 56
- 詳細ソフトキー、～でのマルチパーティ コールの表示 54
- 使用方法、ヘッドセットの 7

す

- スピーカ
 - 使用 19
 - ～でのコールへの応答 18
- スピーカ、使用 45
- すべてのコールの転送、～のオプション 25

せ

- セキュリティ、コールの 39
- 切断、～のオプション 19
- 設置、Cisco Unified IP Phone 5
- 設定、カスタマイズ 50

そ

- ソフトキー ボタン、～の説明 10

た

ダイヤル オプション

- 基本的な 15
- 追加の 16
- ダイヤル、～のオプション 15, 16
- 短縮ダイヤル
 - 使用 16
 - 設定 31
 - ～の説明 32
 - ラベル 66

ち

- 着信履歴、～のレコード 53

て

ディレクトリ

- Web ページからの使用 71
- ～からのダイヤル 16
- 個人 58
- 社内 56
- 電話機での使用 53
- デバイス設定ページ 63
- 転送、～のオプション 22
- 電話回線、～の説明 12
- 電話機サービス
 - 設定 64

「ユーザ オプション Web ページ」も参照

と

登録、電話機サービスへの	67
トラブルシューティング	
一般的な	78
品質	80

な

ナビゲーション ボタンの図	11
---------------	----

に

認証されたコール	39
----------	----

は

パーク、コールの	18
パスワード、変更	68
発信、コールの	15
発信者 ID	10
発信履歴、~のレコード	53
ハンズフリーで音声を聞く	45
ハントグループ	
~からのログアウト	35
説明	35
ハントグループからのログアウト	35
ハンドセット	
受け台に固定	7
使用	46, 47
ライトストリップ	11

ひ

品質	80
----	----

ふ

ファースト ダイヤル	
Web ページからの設定	59
電話機での使用	58
複数のコール、処理	18, 21
不在履歴、~のレコード	53
不審なコール、トレース	40
プライバシー	
および共有回線	36
使用	38
プレダイヤル	15

へ

ヘッドセット	
接続	7
パフォーマンス	8
ヘルプ、使用	14

ほ

ボイス メッセージ、アクセス	61
ボイス メッセージ インジケータ	
~の説明	61
ボタン、特定	10
保留	
およびコールの切り替え	21
および転送	22
使用	20

保留状態のコールの復帰	20
保留復帰	20
保留復帰インジケータ	20
保留ボタンの図	11

ま

マニュアル、アクセス	2
マルチパーティ コール	
~の詳細の表示	54
履歴での識別	54

め

メッセージ	
聞く	61
~のインジケータ	51
メニュー、使用方法	13

も

モニタリング、コールの	45
-------------	----

ゆ

ユーザ オプション Web ページ	
アクセス	62
~での機能とサービスの設定	64
~での電話機サービスへの登録	67
優先順位付け、コールの	40

よ

呼出音

カスタマイズ	50
~のインジケータ	11
~の音量	50
呼出トーン、変更	50

り

リダイヤル	15
リモートで使用中のアイコン、共有回線の履歴	36
~からのダイヤル	15
~からの表示およびダイヤル	53
削除	53

わ

割り込み

および共有回線	36
およびプライバシー	38
使用	37

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices.

CCVP, the Cisco Logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0704R)

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ株式会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスココンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00